

## クイックスタートガイド

LV-7385 LV-7380 LV-7285 LV-8310

- このクイックスタートガイドでは、プロジェクター（本機）の基本的な操作方法をコンピュータとの接続を例にして説明しています。詳しい説明は、User's Manual CD-ROM 内の「使用説明書」をご参照ください。
- 本機を使用する前に、「Important Information（重要なお知らせ）」の冒頭に記載している“安全上の注意事項”を必ずお読みください。

※本機は、日本国内向けモデルです。

※本書のイラストは LV-7385 のモデルを掲載しています。

### ステップ1 設置する

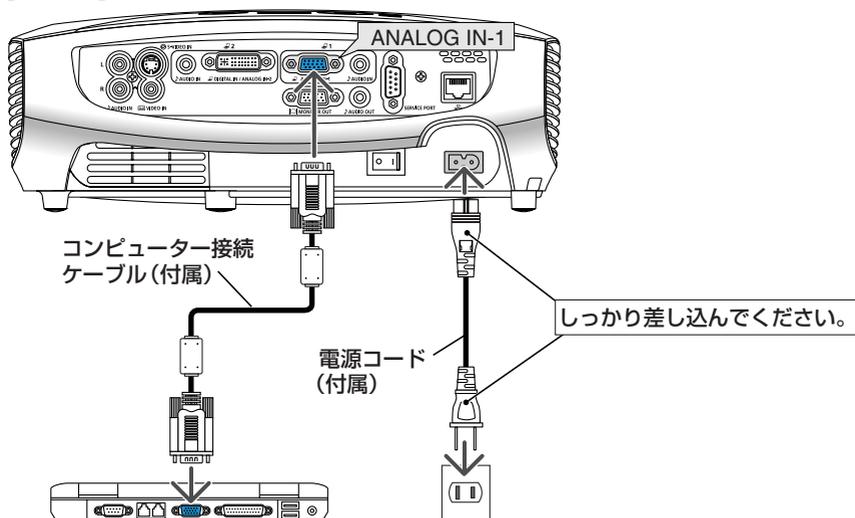
お好みの画面サイズになるように、本機を置く位置を決めます。

- 🕒 使用説明書・LV-7385/LV-7380/LV-7285 の場合：24 ページ
- ・LV-8310 の場合：25 ページ

### ステップ2 接続する

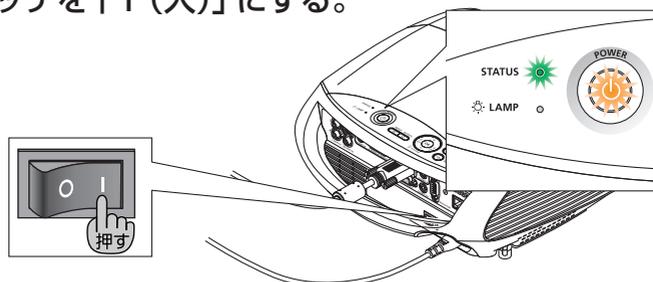
- 1 コンピューター接続ケーブルを接続する。
- 2 電源コードを接続する。

【接続例】

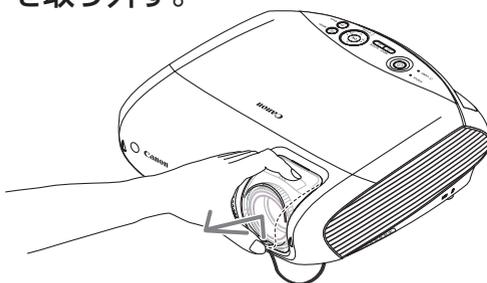


# ステップ3 電源を入れる

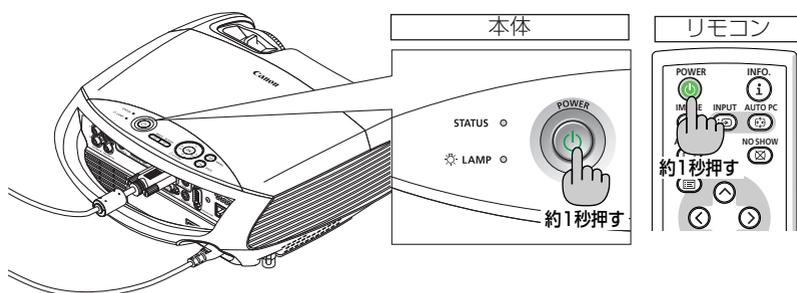
1 主電源スイッチを「I (入)」にする。



2 レンズからレンズカバーを取り外す。



3 **POWER** ボタンを約 1 秒押す。



参考

ご購入後はじめて電源を入れたときは「Language (言語選択)」画面が表示されます。(V)(<)(>)ボタンで言語を選び、(OK)ボタンで決定してください。

Language		
English	Dansk	Norsk
Deutsch	Português	Türkçe
Français	Čeština	Русский
Italiano	Magyar	عربي
Español	Polski	Ελληνικά
Svenska	Nederlands	中文
日本語	Suomi	한국어

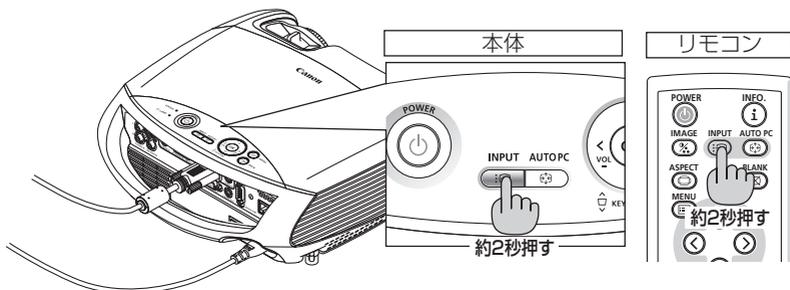
OK: OK

# ステップ4 信号を選ぶ

本機に接続しているコンピューターの電源を入れ、

**INPUT** ボタンを約 2 秒以上押す。

数秒後にコンピューターの画面を投写します。



## 参考

### ●ノート型コンピューターの画面がうまく投写できない場合

ノート型コンピューターの外部出力 (モニター出力) 設定を外部に切り換えてください。

・Windows の場合はファンクションキーを使います。

**Fn** キーを押したまま (  ) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り換わります。しばらく (プロジェクターが認識する時間) すると投写されます。

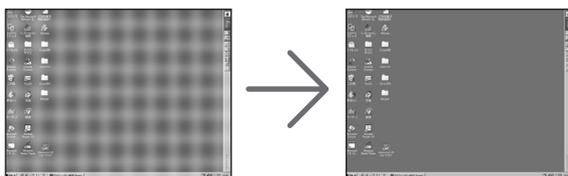
### 【コンピューターメーカーとキー操作の例】

<b>Fn</b> + <b>F2</b>	MSI
<b>Fn</b> + <b>F3</b>	NEC、Panasonic、SOTEC、MITSUBISHI、Everex
<b>Fn</b> + <b>F4</b>	HP、Gateway
<b>Fn</b> + <b>F5</b>	ACER、TOSHIBA、SHARP、SOTEC
<b>Fn</b> + <b>F7</b>	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
<b>Fn</b> + <b>F8</b>	DELL、ASUS、EPSON、HITACHI
<b>Fn</b> + <b>F10</b>	FUJITSU

※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの使用説明書をご参照ください。

### ●画面の端が切れている場合

コンピューターの画面を投写したときに、画面の端が切れていたり、映りが悪いときは、**(AUTO PC)** ボタンを押して自動調整を行ってください。



【映りが悪い画面例】

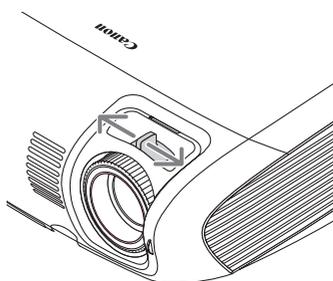
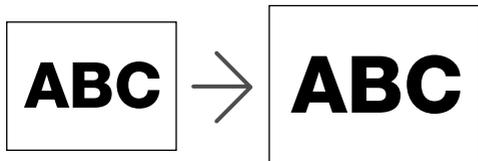
【自動調整後の画面例】

# ステップ5 投写画面の位置と大きさを調整する

ズームレバー、フォーカスリング、調整脚などを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

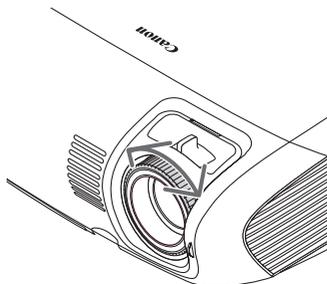
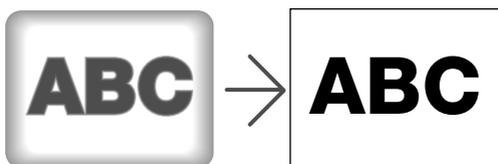
## 投写画面の大きさの調整【ズームレバー】

ズームレバーを動かして、投写画面の大きさを調整する。



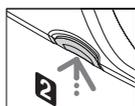
## 投写画面のピント調整【フォーカスリング】

フォーカスリングを回して、ピントを調整する。

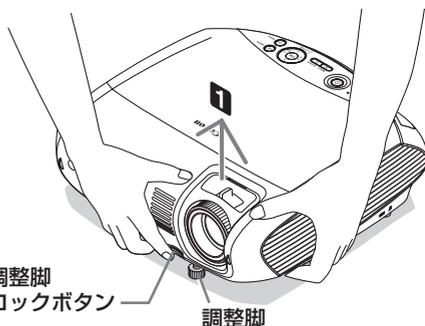


## 投写角度(投写画面の高低)の調整【調整脚】

- 1 本機の前部を持ち上げる。
- 2 調整脚ロックボタンを真上に押し上げる。



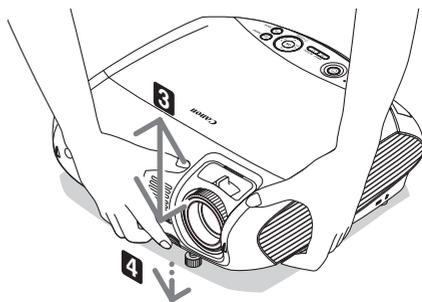
調整脚  
ロックボタン



⚠ 排気口の熱風にはご注意ください。

**3** 調整脚ロックボタンを押し上げたまま、本機の投写角度を調整する。

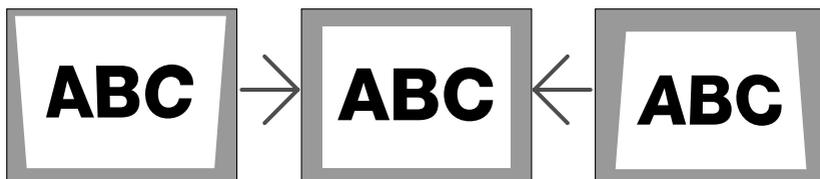
**4** 角度を固定したいところで調整脚ロックボタンから指を離す。



### 台形ひずみ補正【オートキーストーン】

投写画面が台形にひずんでいないことを確認する。

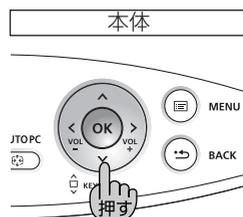
本機は、本体の上下の傾きを感知し、画面のひずみを自動で補正します。



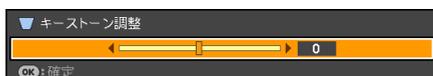
画面の左右（水平方向）がひずんでいるときは、レンズ面がスクリーンに平行になるように設置しなします。

### 台形ひずみ補正【キーストーン調整】

**1** オンスクリーンメニューが表示されていないときに、本体の **✓/∧** ボタンを押す。  
調整バーが表示されます。

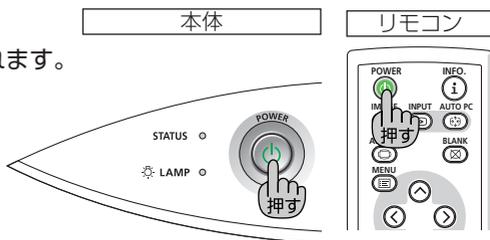


**2** **✓/∧** ボタンを押して、台形ひずみを調整する。



# ステップ6 電源を切る

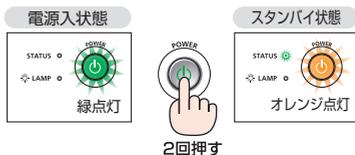
- 1** **POWER** ボタンを押す。  
電源切確認メッセージが表示されます。



- 2** もう一度 **POWER** ボタンを押す。

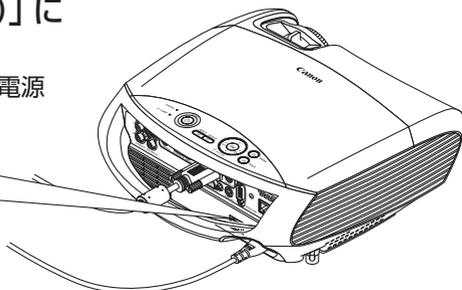
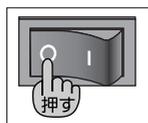
ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、POWERランプがオレンジ色で点灯します（同時に冷却ファンも停止します）。また STATUSランプが緑色で点灯します（スタンバイモードが「標準」に設定されているとき）。



- 3** 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機の POWER ランプが消え、主電源が切れます。



- 4** コンピューター接続ケーブルと電源コードを外す。